

名古屋国語教育研究会
「夏の半日研究会」要項

研究主題

未来を創ることばの力
— 子どもたちが自走する国語教室の創造 —

■日時 令和6年8月8日（木） 13:15～16:25（受付 13:00～）

■場所 ウィンクあいち（11階 各会議室）

■日程

<分科会Ⅰ受付 13:00～> ※各会議室

分科会Ⅰ 13:15～14:35	① 中学校・読むこと部会	1101会議室
	② 話すこと・聞くこと部会	1102会議室
	③ 言語・書写部会	1103会議室

<分科会Ⅱ受付 14:50～> ※各会議室

分科会Ⅱ 15:05～16:25	① 小学校・読むこと部会	1101会議室
	② 書くこと部会	1102会議室

■主催 名古屋国語教育研究会

■後援 名古屋市教育委員会 名古屋市立小中学校長会
名古屋市教育会 愛知県教育振興会

子どもたちが目を輝かせる国語教室を目指して

名古屋国語教育研究会会長

名古屋市立正木小学校長

加 賀 幸 一

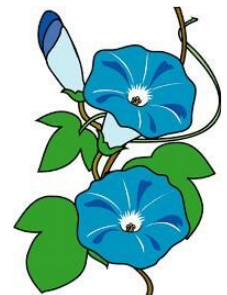
猛暑日が続くことが異常ではなくなってしまう中、今年も国語教育に熱心な先生方にご
参会いただき、名古屋国語教育研究会主催の「夏の半日研究会」を開催することができます
ことを大変うれしく思います。

小学校と中学校の先生方が一緒に学べる研究会は、全国的に見ても珍しいと言われる中、
本研究会では、「国語教育実践者会議（土曜会）」の名で発足した時以来、このスタイルを
大切にしています。「実践を第一義とし、教室に拘泥する」という実践者としての精神は、
脈々と今に受け継がれています。

昨年度より、名古屋国語教育研究会では「未来を創ることばの力」を研究主題としていま
す。予測困難と言われる時代の中で、能動的に自分たちで未来を創っていくためには、やは
りことばの力が必要不可欠であるという強い思いが込められています。

また、学び方も大きな転換期を迎えています。昨年9月に公表された「ナゴヤ学びのコン
パス」においても、「子どもは有能な学び手である」という視点に立つことが求められてい
ます。他者から与えられる学びではなく、自分が何を学びたいのか、学ぶ必要があるのかを
判断して、自律して学び続ける姿を求めていく必要があります。「子どもたちが自走する国
語教室の創造」というサブテーマのもと、子どもたち自身が自己選択・自己決定して学びを
進める実践の中で、いかに資質・能力を向上させていくかについて、熱
い議論ができれば幸いです。

ここにお集まりの皆様にご敬意を表し、子どもたちが目を輝かせる国語
教室となるようご尽力いただくことを切に願っています。



「未来を創ることばの力」 ～ 子どもたちが自走する国語教室の創造 ～

1 本テーマ「未来を創ることばの力」について

子どもたちが生きる社会は、日々めまぐるしく変化している。このような予測困難な社会の中で幸せに生きていくためには、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、ゆるやかな協働性の中で仲間と関わり合いながら社会を切り拓いていくことが求められる。そのためには、物事を正確に理解し、論理的に思考し、豊かに想像し、適切に表現することができる「ことばの力」が不可欠である。

このような考えに立ち、私たち国語教師は、これまで以上に子どもたちのもつ力と可能性を信じ、ことばで未来を創造していく子どもを育てたいと考え、本テーマを設定した。

2 サブテーマ「子どもたちが自走する国語教室の創造」について

(1) 子どもたちが自走する学び

本テーマに迫るために、私たち国語教師は、教師の指示待ちではなく、自らがことばと向き合い、自らのことばの世界を創っていこうとする主体的なことばの学び手の育成を図っていく必要がある。

この主体的なことばの学び手を育成するためには、学習指導要領における、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の観点として示されている「粘り強さ」と「自己調整力」を十分に発揮できるよう、自己選択・自己決定する学び、すなわち子どもたちが自走する学びへ転換していく必要がある。令和5年度は、初年度の取組として、各部会において「自走する子どもたちの姿」について議論を重ね、その具体化に向けて、自己選択・自己決定のある学びの機会を設定したり、学習の見通しをもてるよう支援したりすることで一定の成果が見られた。しかしながら、子どもたちの資質・能力の一層の向上に向けて、自己選択・自己決定の内容や場面の設定の仕方、そのための学習環境の整え方、協働する場面での対話の仕方などまだまだ多くの課題が見られた。

(2) 伴走者としての教師の役割

子どもたちが自走する国語教室の創造に向かうためには、子どもたち自身が自走することと併せて、私たち教師も「子どもたちは有能な学び手」であるという視点に立つことが求められている。子どもたちが主体的に学ぶ過程で、教師が伴走者として寄り添うために、どのような支援の在り方が求められるのか、各部会においてさらに検討していく必要がある。

令和5年度の取組を「自走する学びへの転換のスタート地点」と捉え、令和6年度も引き続き、「子どもたちが自走する国語教室」の実現に向けて、これまでに明らかとなった課題の克服ができるように研究を進めていく。

分科会番号 I ① 中学校・読むこと部会

1 使用教材（単元）

「パースデーガール」（中3年）、「紙の建築」（中2年）

2 提案

読むことにおける自走する学びを実現するための、教師の手だてを中心に提案します。

3 分科会の流れ

	司会：矢田中 西 弘満 先生
13:15	○ あいさつ・全体の流れの説明 前津中 前田 豊 先生
13:17	○ 中3年『パースデーガール』授業提案 （15分） 提案：鳴海中 上條 貴史 先生
13:32	○ 中2年『紙の建築』授業提案 （15分） 提案：北中 山田 一輝 先生 * 座席移動・説明
13:47	○ グループに分かれての協議（30分）
14:17	○ グループに分かれて協議した結果の共有（10分） ○ 提案者から
14:27	○ まとめ 守山西中学校長 西脇 治郎 先生
14:33	○ アンケート記入
14:35	○ 終了

4 今後の部会の予定等

日 時：9月下旬 18:30～

会 場：イーブルなごや

連絡先：東区 矢田中学校 西 弘満 (Tel722-5281 IP71-2234)

分科会番号 I ② 話すこと・聞くこと部会

1 使用教材（単元）

「子ども未来科」で何をする（小5年）

2 提案

学習の見通しをもち、自己選択・自己決定できる学びを設定することで、子どもたちが自らの課題に粘り強く取り組み、繰り返し学習しようとする話すこと・聞くことの授業について提案します。

3 分科会の流れ

	司会：平田小 住田 美佳 先生
13:15	○ あいさつ・全体の流れの説明（5分）
13:20	○ 授業提案 （40分） 提案 岩塚小 岡田 拓未 先生 有松小 長坂 耕司 先生
	★ 主体的に学びを進めるという観点から、学習の見通しをもち、自己選択・自己決定できる学びの在り方とは
14:00	○ 休憩
14:05	○ 小グループに分かれての話し合い（10分）
14:15	○ 意見の発表・交流・感想（10分）
14:25	○ まとめ（7分） 植田小学校長 野々川 康弘 先生
14:32	○ アンケート記入
14:35	○ 終了

4 今後の部会の予定等

日時：9月27日（金）18:30～

会場：天白区 植田小学校

連絡先：西区 平田小学校 住田 美佳（Tel 502-2017 IP 71-2414）

分科会番号 I ③ 言語・書写部会

1 使用教材（単元）

「ベンチ」「『本の帯』をつくろう」（中1年） 言語
 「楷書で書こう・行書で書いてみよう」（中1年） 書写

2 提案

「自ら言葉を磨く子どもに伴走する教師の在り方」を今年度のテーマとし、子どもたちが言葉や表現、文字を自ら磨くための授業の工夫を、教師の伴走の在り方にも着目しながら提案します。

3 分科会の流れ

	司会：榎小 岡島 靖浩 先生 桜丘中 小川 拓海 先生
13:15	○ あいさつ・全体の流れ
13:20	○ 言葉の魅力に気づき、自分の思いに合った言葉を選ぶことができる生徒の育成 提案：昭和橋中 山本 七海 先生 ★ 文学作品を通して言葉の魅力を感じたり、その魅力を人に伝えたりする実践の紹介
13:30	○ PDCA サイクルを意識して書写学習に取り組む生徒の育成 提案：神の倉中 倉地 恵一郎 先生 ★ 楷書や行書の学習において、自ら目標を立て、達成し、改善するというサイクルを取り入れる実践の紹介
13:40	○ 質疑応答
13:45	○ 休憩
13:55	○ 模擬授業 提案：平針中 川村 朋也 先生 ★ 参会者が生徒役として言語分野の授業を体験
14:05	○ 感想・意見の交流
14:15	○ まとめ 守山小学校長 市野 篤史 先生 呼続小学校長 服部 左夕里 先生
14:30	○ アンケートの記入
14:35	○ 終了

4 今後の部会の予定等

日 時：9月27日（金）18:30～

会 場：南区 新郊中学校 特活室

連絡先：南区 新郊中学校 古安 良啓（TEL821 - 8661 IP71 - 3232）

港区 港北中学校 戸田 真（TEL381 - 0121 IP71 - 3132）

分科会番号Ⅱ① 小学校・読むこと部会

1 使用教材（単元）

「固有種が教えてくれること」（小5年）

2 提案

説明文「固有種が教えてくれること」（小5年）の授業を例に、「読みの系統表」を活用し、児童が自らの課題解決に向けて、自走し、仲間と協働しながら学び進める授業について提案します。

3 分科会の流れ

		司会：千早小 土田 虎生輝 先生
15:05	○	研究概要 （10分） 提案 西山小 富田 英輔 先生
15:15	○	授業提案 （45分） 提案 八社小 岡田 真奈 先生 桃山小 亀山 治夫 先生 上野小 宮崎 大樹 先生
16:00	○	感想・意見の交流（10分）
16:10	○	まとめ（10分） 浦里小学校長 原田 直美 先生 日吉小学校長 笠原 誠康 先生
16:20	○	アンケート記入（5分）
16:25	○	終了

4 今後の部会の予定等

日 時：9月26日（木）18:30～

会 場：イーブルなごや

連絡先：緑区 南陵小学校 早川 貴之（Tel 623-6381 IP 71-3420）

分科会番号Ⅱ② 書くこと部会

1 使用教材（単元）

「取材して知らせよう」（小3年）

『ショートショート』を書こう」（小4年）

「物語を作ろう」（小6年）

2 提案

「自由進度学習」を取り入れた書くことの学習において、課題となることを整理しつつ、小3年、小4年、小6年の単元の中で自己調整のできている姿と、そこに迫るための方法について具体的に考えて、提案します。

3 分科会の流れ

		司会：御田中 山口 貴史 先生
15:05	○	はじめに
15:15	○	実践報告：小3、小4、小6年の実践 （15分） 報告 辻小 近藤 雄介 先生
15:30	○	改善案の提案①：見通しのもたせ方、 学びのエンジンのかけ方 （15分） 提案 千年小 佐藤 和輝 先生
15:45	○	休憩
15:50	○	改善案の提案②：振り返りのさせ方、 伴走者としての関わり方 （15分） 提案 守山小 千葉 泰弘 先生
16:05	○	感想・意見の交流 記録：光城小 矢藤 幸子 先生
16:15	○	まとめ 東築地小学校長 秋田 義仁 先生
16:23	○	アンケート記入
16:25	○	終了

4 今後の部会の予定等

日 時：9月18日（水）18:30～

会 場：イーブルなごや

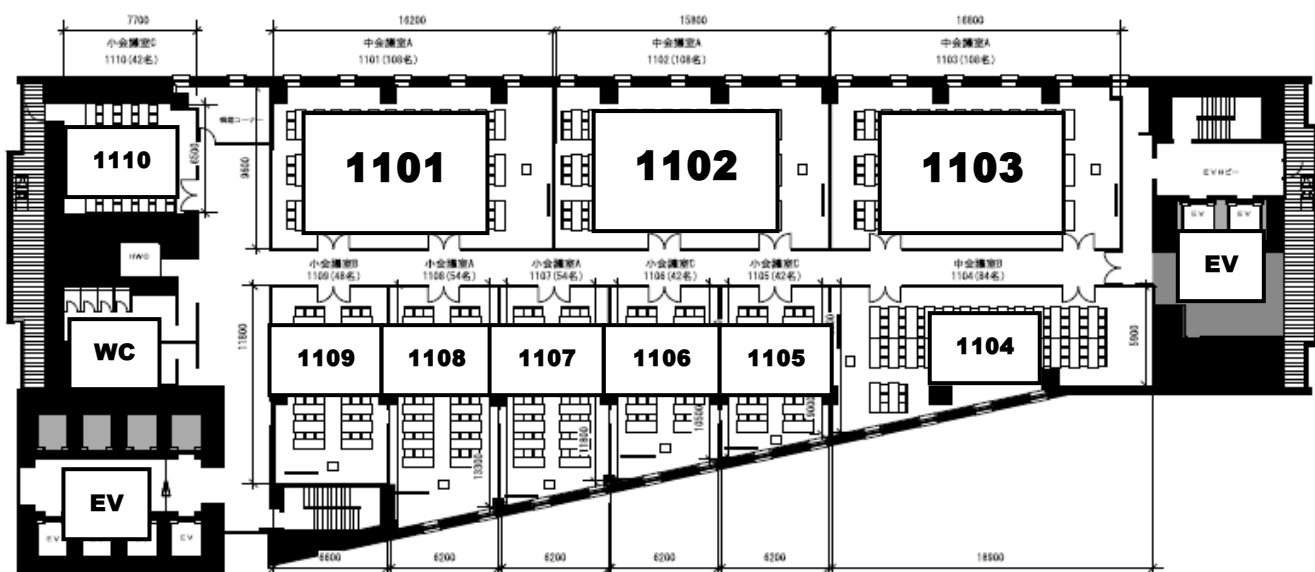
連絡先：東区 旭丘小学校 千崎晶美（Tel 936-7291 IP 71-2201）

【会場】ウインクあいち

分科会 I・II 各会議室にて

	受付	分科会	会場 (11階 各会議室)		
			1101	1102	1103
分科会 I	13:00~	13:15~14:35	① 中・読む	② 話す・聞く	③ 言語・書写
分科会 II	14:50~	15:05~16:25	① 小・読む	② 書く	

11階



ウインクあいち アクセス

〒450-0002

名古屋市市中村区

名駅4丁目4-38

- ・ JR 桜通口から：徒歩5分
- ・ エモール地下街5番出口から
：徒歩2分
- ・ 名駅地下街サロードから
：徒歩8分

